

# 知って見ない？



(ぶんこも公式HPより)

みんな、「ぶんこも」使ってる？

2024年10月にオープンした文学研究科のイノベーションcommons「ぶんこも」を、みなさんは知っているだろうか？ 自習から公開イベントまで、様々な用途で使えるぶんこもだが、その真価を知っている人のなんと少ないこと！ 本記事では、ぶんこもヘビーユーザーである編集部員が、未だ知られざるぶんこものあんなコトやこんなコトを紹介するとともに、文学研究科 人文知連携拠点長の喜多千草教授とぶんこもアカデミックフェローの辻田明子さんにインタビューをおこなった。(ノノ) ※本記事で使用しているイラストは、全て権利者の許諾を得た上で使用しています。

## INFORMATION

京都大学 大学院文学研究科・文学部  
ぶんこも

場所：京都大学 本部構内 文系学部校舎 1F・B1F

利用条件：  
京都大学教職員 **文学部生じゃなくても使えます！**  
京都大学在学生  
京都大学大学院文学研究科・文学部の卒業生・修了生  
上記の同伴者 (2025年6月時点)

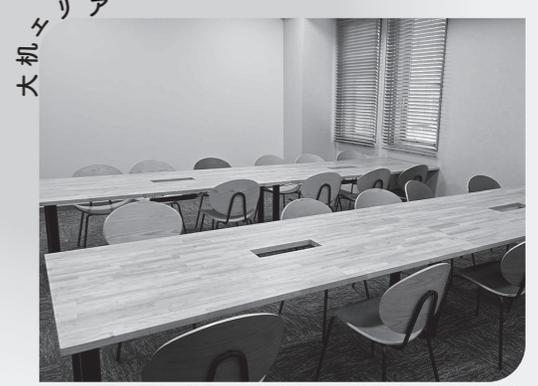
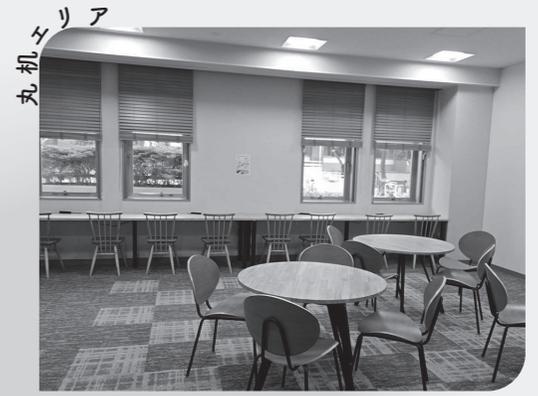
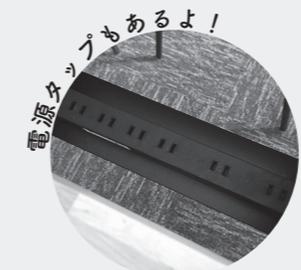
利用時間：平日8:30~18:30 (国民の休日、年末年始などを除く)



(文・1 優柔不断)

(この記事書いた人も文学部生なので気持ちはよく分かります；編)

## 1F



▲インテリアは会話のしやすさと模様替えのしやすさを意識している。実際丸机エリアは自由に模様替えが可能

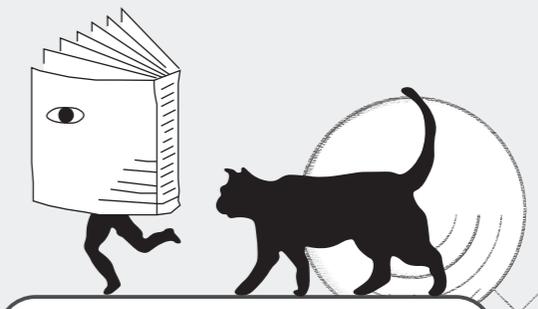


地下多目的スペース



サンクンガーデン

▲晴れている日は椅子と机が出ており、ここでご飯を食べることもできる。ライトがあるので夜も明るい



1階フロア・地下多目的スペースのイベント予約は、教員のみの2週間前までに予約可能。  
1階フロアについては、10日前からであれば学生も机単位で予約できる。また、サンクンガーデンも学生は机単位で予約可能だ。  
詳しくはオフィスまで。

## はみだしすてーじ

新歓のアフターでバ先のお客さん増え過ぎて死にそう  
⇒あなたの働きによって京大のサークルは支えられています。今年もありがとうございました

(総・3 フサフサフッサール)

(らいつの新歓もお世話になりました；編)

# Interview



ぶんこもアカデミックフェロー  
辻田 明子 さん

文学研究科 人文知連携拠点長  
喜多 千草 教授

—まず、ぶんこもって一体どんな経緯でできたんでしょうか  
もともと施設部の構想で、イノベーションハブっていうのを京大のあちこちに作れたらいいなっていうのがあって。そして、この建物（文系学部校舎）が耐震的に弱くなっていて、でも建て替えの要求が中々通らないと。であるときに、イノベーションハブを作るっていうのと抱き合わせにしたら要望が通るかもっていうのを、2代前くらいの執行部が考えて書いてら通っちゃって（笑）施設部の構想と文学部が建物を綺麗にしてほしいっていう要望がマッチングして、お金がついたっていう。つまり、建物が古かったからここにできたんですね。

—ぶんこもが作られた目的はなんですか  
よくあるイノベーションハブっていうのを調べてみると出てくると思うんだけど、色んな分野を超えた、産官学みたいな、対話の場にもなるような場所にしたいっていうのが、元々の目的ですよね。だから一番最初に産学連携本部（国際科学イノベーション棟）にできた。ぶんこもはインテリアとかも、普通のオフィスよりは会話しやすいスペースにして、場合によってはイベントに必要な時にレイアウト替えて使うっていう、模様替えしやすい感じ。例えばオフィスがカウンターみたいになってたのを、もうちょっと壁とかがなくて、向こうが見える感じにしたんですね。このスペースとかは、丸い机を端に寄せて、たまにここで座り込んでホワイトボードで議論してる人たちがいたり。大机とオフィスについてる机以外は割と動かせるようにとか、いろんなレイアウトで使えるようになってるんですよ。私たちがお世話してあげるといよりは、色々貸し出ししたり、自分たちで好きな部屋として使うっていう、セルフヘルプで使う場所になってるんですよ。

—声出しOKなのは珍しいですよ  
そうなんです。それから、飲み食いもOKです。自習室とかは他にもあるけど、声出せる場所っていうのは少ない。あとは、食べられない。だから、食べ物持ってきていい、コーヒー飲みながら、お弁当食べながら議論するとかできるようにしようって、そういう風にデザインしたんですね。自習室と多目的スペース、どちらとしても使えるように。

## 普段出会わない学生同士が

## ゆるく

## 出会える場所に

—普段のイベントはどんな感じでおこなわれているんでしょうか

全部私たちを通さないといけないってことは全然ないので、借りた人が自由にやってます。お休みの日なんかは、ここを貸し切りにされてるようなイベントもありますし。特に告知とかはしなくても、一部だけ貸し切って、あとはみんな自由に勉強していいみたいなものもあるスペースは発表会とかされてるけれど、別のスペースではみなさんが勉強してたり喋ってたり、コーヒー飲んでてもいい。フロアで貸し切ってないときは、周りで見ても構わないっていうタイプのイベントなんです。普段のイベントでも、「何やってるんですか」みたいに加わる人がいたりとかも。ここはそれこそイノベーションハブのコンセプトで、なんか面白いことが起こって、聞き耳立てた人がわたしも入っていいですかみたいなものがあるってことでやってたら、何回か実際に起こったりして、面白いと思います。

—学生も自由に使えるんですよ

そうですね。もし面白い話があったら実現したいので、とりあえず気軽に声をかけてください。イベントほど大きくなくても、勉強会とか読書会とか、みんな割と自由に使ってますね。5限後や土日、長期休み期間には、教員がイベントとか学会やってもらってもいいっていう風にしてるんですが、5限までは、学生さんが授業の合間っていうので学生の利用を優先してるんです。学生の方が自由な時間に設定できるようにしてるんですね。予約して集まってもいいし、別に予約しないで勝手に集まってもいい。空いてたらそれでいいんだよね。そういうやり方にして、学生の居場所としてのあり方も大事に考えてます。



▲普段の様子。ここで自習をする人も



—ぶんこもを今後どのようにしていきたいですか

特に学生さんたちにとって、気持ちよくいられる場所になればいいなって思っています。だからイベントも、イベントが主体というよりは、学生さんたちの気づきとか出会いの場みたいな感じで機能していったらいいなって嬉しそうです。みんなに愛されるというよりは、「そこでなんか面白いことがあるね」とか、「あそこでなんかしてみたいね」とか、そういう風になるといいなって。情報を得ている人だけが集まってくるんじゃなくて、「こんなのもやってるんだ」みたいなことから幅が広がったり、思い付きがあったり、そういう出会いがあったらいいかなって思っています。

あとは、普段話すことのない全然違う専門の人とかでも、話の内容はお互い引っかかるものだったみたいなことは、なかなか京大内では起こりえないと思うので、そういうふわりとした出会いもあるのかもしれないけど、そうじゃなくても、お互いにゆるく刺激を与えあえる場所がいいですね。固定の人が使う感じにはならず、色んな人が色んな形で入れ代わり立ち代わり使って、居心地と風通しのいい場所になればいいなって思いますね。

## ぶんこもでイベント、やってみませんか？

ぶんこもでは、教員だけでなく、学生も参加してイベントをおこなうことができる。トークイベントや会議のほか、地下多目的スペースには暗幕やプロジェクターもあり、鑑賞会や展示会を開くことも可能。オフィスではマイクやスピーカーなどを無料で貸し出しているため、利用したいときはカウンターに訊いてみよう。ゆくゆくは学生とコラボしたイベントも考えているようで、やりたいイベントのアイデアがわいたら、気軽にオフィスまで相談しに来てほしい、とのことだ。



▲4/14開催トークイベント「岸政彦『調査する人生』刊行記念ブックトーク」の様子

—今後はどんなイベントが開催される予定なんですか

まだあんまり具体的にはなってないんだけど、ブックトークは続けていきたいなとは言ってます。文学部の先生は本を出す人がとても多いので。他にも、定期的にプログラミング相談室っていうのをやってたり、あとこれからアカデミックライティングとかも時々やろうって言って。そういう相談にちょっと来れたり、ちょっとしたワークショップで自由参加できたりするような形のものもやっていきたいですね。

—最後に、京大生に向けてメッセージはありますか

「このあと近くで授業があるけど、それまでどこにいようかな」みたいなときには、ぜひぶんこもに来ていただきたいですね。飲食可で、おしゃべりもできる場所があるよっていうのをぜひ知って、一度足を運んでもらえたら嬉しいです。ここに来て、見て、ここだったらこんなイベントがあればぜひ聞かせてください。それでいいなってなったらなるべく実現の方向で考えていくので。

—ありがとうございました！

## ぶんこものHPができました！

実は、4月1日にぶんこものHPがオープンしました！施設としてのぶんこもは学生や教員同士の交流を促進する場であるのに対し、HPは学生や教員が自分の活動をカジュアルに発表できる、広場のような場所を目指しているそう。ONLINE×OFFLINEでさらに使いやすくなったぶんこもを、引き続きよろしくお祈りします！  
また、編集部員1人とでぼんがぶんこもについて書いたエッセイが、ぶんこものHPに掲載される予定です。ぜひご覧ください！



▲WEB MAGAZINEにはイベントレポート

なんかやらなきゃ！という春の焦りが毎年苦手…  
⇒「春眠暁を覚えず」とも。あえてなにもせず、精一杯だらだらするという選択肢をあなたに

(理・2 ぶす)  
(明日から本気出す；編)

はみだし  
すてーじ

1回生ですが中央食堂派です。温玉ぶっかけむちゃうま  
⇒各食堂に色があるのも京大の魅力！まだチャレンジ精神が旺盛なうちに色々楽しんでください

(文・1 手前味噌)  
(実は3月からルネにも麺コーナーできたらしい；編)